

第 17 回 放射線災害時のスクリーニング作業の実際について(実践講習会)参加記

横須賀市立うわまち病院
古賀奈津実

11月30日(土)に放射線災害時のスクリーニング作業の実際について(実践講習会)に参加させていただきました。

前半は、3つの講演を拝聴させていただきました。(写真1)
一つ目の「被ばくを考えよう～若手技師のせっかくスクリーニング!!～」では、被ばくに関して改めて復習させていただけるような内容でした。万が一放射線災害が起きた時に地域の方々からの被ばくの質問に的確に答えられるようにするためには、日頃から自分や患者さんの被ばくがどれくらいなのかを意識して、被ばくへの知識を高めておくことが大事だと感じました。
二つ目の「横須賀市の原子力災害時の対応について」では、横須賀市内に原子力関連施設が二か所もある事にとっても驚きました。自分が住んでいる地域でも放射線災害が起きるかもしれないと知って、自施設の災害時のマニュアルの内容を確認して、放射線災害に迅速に対応できるようにしておかなければいけないと感じました。
三つ目は「甲状腺簡易測定研修に参加して」という講演でした。この講演を聞いて、放射線災害時、甲状腺簡易測定を実施する体制が整備されることになった理由や、甲状腺簡易測定研修の内容について知ることが出来ました。甲状腺簡易測定は、放射線災害発生から3週間以内に対象者の測定を終えなければいけないそうです。そのためには多くの測定者が必要とのことだったので、私も研修に参加して放射線災害時に少しでも貢献できるようにしておきたいと感じました。



写真1：講義の様子

後半は、3つの実践演習を行いました。
一つ目の「サーベイメータの使用法&実践」では、NaIシンチレーション式サーベイメータ、GM計数管式サーベイメータを用いて、模擬線源の測定を行いました。サーベイメータを触るのは学生の時以来だったので、この機会に改めて使用方法を思い出すことが出来ました。また、被災者の方に不安を与えないように測定音は消して使用する方がいいということをお教えいただき、それがとても印象に残りました。
二つ目の「セグメント法について&実践」(写真2)では、二人一組になってセグメント法を行いました。セグメント法とは、全身を6つの部位に分割し、一筆書きの要領でスクリーニングを行う方法です。実際にセグメント法をやってみて、3分間という短時間で測定部位の取りこぼしも少なく、効率のいい方法だと感じました。
三つ目の「タイベックススーツの着用方法&実践」(写真3)では、タイベックススーツという防護服を実際に着用しました。周りの方々に手伝ってもらいながら、や

っとの思いで着用することが出来ました。特に脱衣では汚染を広げないために慎重に脱がなければいけないので大変でした。また、スーツを着ると密閉されているため暑く、その状態で沢山の方々をスクリーニングするのはとても重労働だと感じました。



写真2：セグメント法の様子 写真3：タイベックススーツ着用実習の様子

この講習会を通じて、放射線災害時のスクリーニングに必要な知識と技術を学ぶことが出来ました。これからもこのような研修会に積極的に参加して、知識と技術をさらに深めて放射線災害時に貢献できるよう努めていきたいです。この機会をいただいた関係者の皆様に心より感謝申し上げます。